

移植時の培養液

移植時、胚と一緒に少量の培養液を子宮内に戻します。通常の培養液の他に以下の2種類の培養液があります。

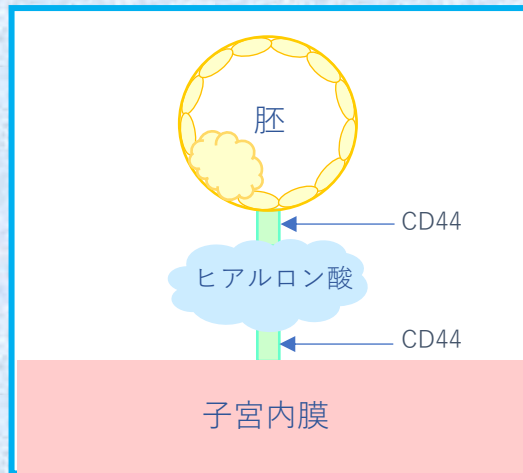
※適用条件があります。医師にご相談ください。

－高濃度ヒアルロン酸含有培養液－

培養液に高濃度のヒアルロン酸が含まれています。

胚と子宮の内膜には**CD44**と呼ばれる、ヒアルロン酸と結合しやすい分子が存在しています。

胚と一緒にヒアルロン酸を子宮内に移植することで、着床率が向上すると報告されています。



－GM-CSF－

GM-CSFはタンパク質の一種で、子宮内膜や卵管上皮から分泌されています。ヒアルロン酸も含まれている培養液です。

GM-CSFを使用することで、免疫機能を調整し、子宮が胚を異物として攻撃しないよう、受け入れやすい状態にする働きがあります。妊娠率の向上・流産率の低下が報告されています。

